復興16	令和8年度 地域課題研究ゼミナール支援事業　中間報告			
指導教員	金沢大学　松島大輔		参加学生数	5
課題タイトル	関係人口を増やしていくための拠点作り			
活動地域	七尾市	連携団体等	ひらみぱん	
活動概要	能登半島地震後の人口流出により、七尾市内の地域産業は縮小傾向にある。 こうした中、周辺エリアからの人材を呼び込み関係人口を増やすことが急務となっているが、現状では地域内に滞在・宿泊拠点が不足しており、それらを運営する人材やシステムも整っていない。 本活動の目的は、飲食・宿泊機能を備えた拠点を整備し、復興を志す事業者が集う交流の場を創出することである。大学との連携により、空間ニーズのリサーチやワークショップを通じて、地域の持続的な復興に資する拠点作りを目指す。			
活動状況	6月1日　10名程度 田鶴浜町会、ひらみぱん、金沢大学、県議員、石川県地域おこし協力隊による合同会議 6月～8月　5名程度 金沢大学メンバーの田鶴浜勉強会			
今後の予定	8月3日　5名程度 ひらみぱん、金沢大学による合同会議 ※8月以降の予定は8月3日以降に決定			

活動の写真

